

ハッピー通信



2024 年 9 月 17 日発行

24-38 号

(<http://www.jremnant.com/>)

現場から（最近のニュースから）

演出家



映画、ドラマの脚本や監督、また、テレビニュースのコメンテーターなど、いろいろな分野で活躍している三谷幸喜さんが、ある番組で明かした「一緒に仕事をしたい俳優」に関する発言についての記事がありました。

その番組でさまざまな話題で盛り上がる中、話題は三谷さんが「一緒に仕事をしたい俳優」になり、そのとき、三谷さんが「共通言語があるかないか」が重要だと言ったということです。「どんな俳優さんであっても、長年の経験から、時間をかければ（こちらの）意図は伝わる。それが 10 分、20 分かかる人よりも、一瞬で伝わる人の方がそれだけ別のことに時間が使える」ということです。三谷さんによると、俳優の西島秀俊さんには、その共通言語があるということでした。そのやりとりに対して、SNS では「凄く分かるな」「どの仕事にも通じるよなって」「首もげるくらい頷いた」などのコメントが寄せられているということでした。（9 月 9 日 HUFFPOST<三谷幸喜さん、「一緒に仕事をしたい俳優」を明かす。あらゆる仕事に通じる、本質を突いた回答に共感広がる>より）

「阿吽の呼吸」ということばがあるように、二人以上で一緒に物事を行うときの、互いの微妙な気持ちが一致することは、説明をたくさんしなければ通じない、説明しても通じないことより、何事でも、はるかにやりやすいでしょう。そのことを、三谷さんは共通言語と言ったのでしょうか。

いっしょに仕事ができる人がいるのは、とても良いことですが、話が通じないと葛藤が生まれます。夫婦でも、恋愛感情が残っている間はうまくいっているように思えても、生まれ育ちが違うので、どうしても生活していると摩擦が起こります。そのように摩擦が起こることを当然のこととして、相手を理解していけたら良いのですが、それができないとぶつかってしまいます。仕事でも家庭でも、衝突や摩擦が起こるのは、自分を中心に思い描く世界が、相手と違う場合に起こることが多いのです。思ったとおりに動いてくれない・・・共通言語とは、自分の思っていることが通じて、そのとおりに動いてくれるということでもあるでしょう。三谷さんは脚本家であり演出家ですから、演劇や映画、ドラマを作っていくために俳優さんとことばが通じて、思いが通じるのは必要でしょう。しかし、私たちの生活では、それぞれが自分の生活の演出をしています。ですから、それぞれがぶつかってしまうのは仕方がないことではないのでしょうか。どちらにも良いように指示して導く演出家がいるなら、私たちは相手を見るのではなく、演出家を見ていれば良いでしょう。生活の中での演出家になる存在はあるのでしょうか。また、そのような演出家と共通言語を持つことはできるのでしょうか。家庭だけではなく、全世界を導いている方がおられ、その中であなたが存在しています。その方について、その方と通じる共通言語について、そして、あなたの役割について、いっしょに見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあり、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(Ⅰヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってください。感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」

相談のある方は、いつでも連絡ください